

## 野生生物共生センターの取組

○壁谷 昌彦<sup>1</sup>・佐藤 浩樹<sup>1</sup>・土沼 佳史<sup>1</sup>

(所属 1：福島県)

野生生物共生センターは、昭和 57 年に安達郡大玉村の「ふくしま県民の森」内に設置され、人間活動が原因で傷ついた野生動物を治療し、野生復帰させる活動を行っている「鳥獣保護センター」に、野生動物の調査研究、保護管理、環境学習の新たな機能を追加し、平成 28 年に環境創造センターの附属施設として開所した施設である。

### 野生生物共生センターの 4 つの機能と令和 5 年度の取組

#### 1 野生動物の調査研究

環境創造センター研究部と協力して放射性核種濃度の検査や食性・行動の測定等、野生動物への放射線の影響に関する研究を行っている。令和 5 年度は、ツキノワグマ 5 頭の食性・行動調査を実施した。

#### 2 野生動物の救護・野生復帰

交通事故など人の活動により、ケガを負った野生動物の治療・リハビリを行い野生に帰す活動を行っている。令和 5 年度の救護件数は 185 件、野生復帰率は 31%であった。

#### 3 野生動物の保護管理

人と野生動物の適正な関係に向けて、野生動物に由来する人の生活への影響に対して調査・分析や、野生動物の市街地迷入への対応、鳥インフルエンザ等の人と動物の共通感染症の調査等を行っている。令和 5 年度の取組として、県内の有害獣対策データの集計・解析、市街地迷入のツキノワグマへの麻酔銃対応、マダニ媒介性疾病調査や死亡野鳥の鳥インフルエンザ検査等を実施した。

#### 4 環境教育

生物多様性の保全について理解を深めてもらうため、調査・研究や救護活動によって得られた結果を環境教育素材として活用し、施設内に動物のはく製等の展示や復帰訓練中の動物を観察できるコーナーを設け、来館者に環境教育の場を提供している。また、小学生親子を対象に、野生動植物や自然環境に関して学ぶことができる環境学習会を開催しており、令和 5 年度は 11 回の環境学習会を実施した。



野生動物の診察・治療の様子



環境学習会 昆虫観察の様子